



新たなスタートの年を迎えて

川越市長 舟橋 功一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい平成十八年の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから市政に対しまして、温かいご支援とご協力を頂いておりますことに心より厚くお礼を申し上げます。

私は、昨年一月に行われました市長選挙におきまして、四期目の当選の榮譽に浴し、引き続き中核市・川越の市長として重責を担うこととなり、新たな気持ちで一年市政を推進してまいりました。今後も、従来から主張してまいりました「福祉充実、住みよい環境、歴史生かした活性化」を柱に、川越のさらなる発展を目指し、引き続き努力してまいります。

昨年、本市および隣接する坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越

生町の五市町で、国に対して要望を行ってまいりました自動車の「川越ナンバー」につきましては、アンケート調査の実施など、市民ならびに関係団体の皆様の多大なるご協力のおかげをもちまして、導入が決定されました。あらためて厚くお礼申し上げます。

導入時期でございますが、平成十八年度中となっております。川越ナンバーが実現しますと、全国に川越地域をアピールでき、地域の活性化や広域観光の振興が図れるなどの効果を期待しております。ことし、川越ナンバーを付けた自動車が、全国各地を走る日が楽しみです。

さて、本年は、市民と行政にとって、まちづくりを進める指針となる「第三次川越市総合計画」の初年度に当たります。平成八年度に策定された「第二次川越市総合計画」の計画期間が、



同十七年度に終了し、本年四月からは、新たな計画に基づいて市政を運営することになります。

第三次総合計画に掲げる「基本構想」は、まちづくりに対する基本的な考え方を示す「理念」、目指すべき「将来都市像」、これを実現するための「施策の大綱」などを定めたものです。

また、第三次総合計画では、少子高齢化・環境問題の深刻化・地方分権の進展などの急激な社会環境の変化に応じて、「協働」「支え合い」「安全・安心」「活力」などを理念の要素としております。これに基づき、将来都市像は「ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越」と記しています。

本年は、この理念に基づき、「地域での支え合いや協働の必要性」「地域の活性化」を重視した、人もまちも生き生きとした、十年後の活力ある川越を目指す新たなスタートの年としていと考えております。

国・地方を通じて財政状況が厳しい中、第三次総合計画に掲げる諸施策を実現するため、よりいっそう簡素で効率的な行財政運営が求められております。

行財政基盤の強化を図るため、数値目標を明示した「集中改革プラン」を策定し、行財政改革に取り組んでまいります。

また、市民の皆様への市政への参加意識が高まっていることが

ら、市民・民間団体・事業者などの多元的な主体が、共に公共を担う協働の仕組みづくりに取り組んでまいります。

それでは、本年実施を予定している主な事業などにつきまして、その概要を述べさせていただきます。

少子高齢化の進展や地域における相互扶助の精神の希薄化など、家庭や地域を取り巻く環境は大きく変化しております。高齢者や障害のある方をはじめ、多くの市民の方においても、生活不安やストレスなどにより、社会的支援を必要とする方が増加する傾向にあります。

このような状況下において、市民が自立し、相互に助け合い、地域のさまざまな活動に積極的に参加でき、だれもが安心して生活できる地域社会をつくるという考えの地域福祉の推進がますます重要になっていきます。

現在、「川越市地域福祉計画」の策定を進めており、今後はこの計画に基づいて各種施策を推進してまいります。

少子化対策につきましては、昨年、子育て中の親や子の交流の場となる「つどいの広場」を三か所設置しました。これからも、子どもと親への支援体制の充実を図るなど、「かわごえ子育てプラン」に基づき、子どもと親と地域の皆様方が共に育ち、支え合うまちを目指してまいります。

高齢者および障害のある方が、健康で生き生きと安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の各サービスの充実を推進してまいります。

また、万一の際に迅速な救命活動ができるよう、市の主な公

